

高校生からの提言と同採決

○長屋高校生議長

次に、住みよく魅力のある奈良県づくりについての提言を行います。

県立郡山高等学校、3番、川村朋花議員から、提言第1号、ならの道リフレッシュプロジェクト5本目の柱「快適な歩行空間の整備」について、提言決議方の動議が提出されましたので、川村朋花議員に趣旨弁明を求めます。

提言第1号

ならの道リフレッシュプロジェクト5本目の柱 「快適な歩行空間の整備」

○川村（朋）議員 県立郡山高等学校を代表して、提言第1号、ならの道リフレッシュプロジェクト5本目の柱「快適な歩行空間の整備」につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



（県立郡山高等学校 川村 朋花 議員）

県民だより奈良5月号に、ならの道リフレッシュプロジェクトの内容が掲載されていました。ならの道リフレッシュプロジェクトでは、「舗装の耐久性の向上」、「区画線の維持修復」、「草刈りのメリハリ化」、「道路維持管理のDX」を4つの柱とし、奈良県の道路について計画的な維持管理を行い、快適な道路空間を道路利用者に提供することを目指しています。私は、現状の4つの柱に加えて、5本目の柱として「快適な歩行空間の整備」を提案します。

奈良県は、道路統計年報2022によると、国・都道府県道の道路整備率は約32%で全国の都道府県で47位となっていますが、道路整備には時間を要することから、プロジェクトでは既存道路の快適性を目標に、4つの柱で車道を中心に改善計画が進められています。これに加えて、私は歩行者のための歩行空間の整備も必要だと感じています。例えば、奈良公園周辺について、興福寺の階段下から春日大社の一の鳥居へ至る三条通りの歩道は、連日観光客で多くの人が通行していますが、狭くて歩きにくいと感じます。また、次の大河ドラマの舞台となる郡山城跡周辺について、今後、観光客が増えると予想されるにも関わらず、近鉄郡山駅から郡山城へ繋がる道は非常に狭く、歩道が整備されていません。このように、観光客が多く訪れる場所では、利用者の状況に応じた歩道の拡幅や整備、更には、自動車の通行を排除した歩行者専用道路を整備するなど、歩行者の安全を守ることが必要です。もちろん、歩行者専用道路を含めた歩行空間の整備は観光客のためだけではありません。主要な駅の周辺など、歩行者と自転車や自動車等の車両が多く混在しながら通行する道路に歩行者専用の空間があれば、歩行者が安心して通行することができるだけでなく、車両と人が接触する事故を減らすことにもつながります。観光地で観光客の安全を守るために、また、歩行者と車両の接触事故を減らすために、積極的に快適な歩行空間の整備をすることによって、歩行者にやさしい奈良県になると考え、以上をならの道リフレッシュプロジェクトの5本目の柱として提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願いします。

○川村（奈）議員

ただいま川村朋花議員から提案されました提言に賛成します。

○橋渡議員

ただいま川村朋花議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

次に、奈良県立大学附属高等学校、7番、小沼柚佳里議員から、提言第2号、外国人観光客との交流から始まる観光活性化政策について、提言決議方の動議が提出されましたので、小沼柚佳里議員に趣旨弁明を求めます。

提言第2号

外国人観光客との交流から始まる観光活性化政策

○小沼議員 奈良県立大学附属高等学校を代表して、提言第2号、外国人観光客との交流から始まる観光活性化政策につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(奈良県立大学附属高等学校 小沼 柚佳里 議員)

私たちが住んでいる奈良県は多くの魅力があり、その中でも観光客が多く集まる奈良県北部には、奈良公園や東大寺を始め、多くの観光地があります。私は、奈良県北部を訪れる外国人観光客との交流から始まる観光活性化政策を提案したいと思います。

本校では、台湾交流という行事があります。この行事は、台湾の高校生を本校に招き、互いの国の文化や魅力について発表し合います。また、本

校の生徒と台湾の高校生がバディを組んで学校内を一緒にまわったり、本校生と台湾の高校生と一緒に授業を受けたりします。一緒に過ごしている間にお互いの距離が近くなり、台湾に対してとても親しみを感じることができました。

そこで、私は、奈良県でも、奈良県民と外国人観光客が交流するイベントを定期開催し、交流を深める機会を作ってはどうかと考えます。県内の高校生をはじめ県内の多くの方からボランティアを募り、県民と外国人観光客がバディを組んで、奈良の歴史的建造物を訪問したり、奈良県の食文化を体験したりするなど、外国人観光客が奈良県の魅力を体験できる機会を設けます。様々な年代の人が一緒に活動することで、大人から子どもまでより幅広い年代の外国人観光客とのつながりができると思います。また、この取組を奈良県北部だけでなく奈良県東部や南部にも広げることで、奈良県全域でそれぞれの地域の魅力を外国人観光客に伝えることができると思います。さらに、その様子をSNS等で積極的に発信することによって、奈良県を訪れたいと思う外国人観光客も増加するのではないのでしょうか。

以上のことから、奈良県の一般の方々と私たち高校生が一緒になって、奈良県を訪れた観光客と交流できる機会をつくることで、外国人の方が奈良県に親しみを持ち、「何度も奈良県を訪れたい」、「奈良県内の他の地域を訪れたい」と思っただけになるようにと考え、外国人観光客との交流から始まる観光活性化政策として提言いたします。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○計盛議員

ただいま小沼柚佳里議員から提案されました提言に賛成します。

○岸部議員

ただいま小沼柚佳里議員から提案されました提

言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

次に、県立香芝高等学校、11番、隅田詩季議員から、提言第3号、春日山原始林の保全活動の推進拠点づくりについて、提言決議方の動議が提出されましたので、隅田詩季議員に趣旨弁明を求めます。

提言第3号

春日山原始林の保全活動の推進拠点づくり

○隅田議員 県立香芝高等学校を代表して、提言第3号、春日山原始林の保全活動の推進拠点づくりについて、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(県立香芝高等学校 隅田 詩季 議員)

私はインターネットを通して、ナンキンハゼなどの外来種の拡大やナラ枯れの被害により、春日山原始林の荒廃が起きていることを知りました。他にも動物による樹皮剥ぎの被害などの問題もあり、このままの状況が続けば春日山原始林の森林生態系が変容してしまいます。春日山原始林は、国の特別天然記念物であり、世界遺産として登録されています。市街地に隣接し、身近に訪れることのできる貴重な森です。1000年以上前から春日大社の聖域として守られてきた原始林を次世代に残していくことが大切であると強く感じまし

た。

現在、県やNGO団体によって、外来種の伐採や苗の育成、エコツーリズムなどの保全活動が行われています。ナラ枯れなどで倒木した木を活用した春日山原始林アートプロジェクトも開催されています。春日山原始林の魅力と衰退しつつある現状を、より広くより多くの人に知ってもらうことが、保全活動を推進するためには必要だと思います。

そこで、私は、春日山原始林の保全活動の広報や啓発活動を推進するための拠点となる場所を奈良県内にたくさんつくることを提案します。奈良県内の廃校などの現在使用されていない施設や地域の公民館などを活用して、春日山原始林の倒木やどんぐりを活用した作品を展示したり、専門家によって現地で行われている苗の育成を体験したりするなどの活動を通して、より多くの人に春日山原始林の現状について知るきっかけを作りたいと思います。

以上のことから、春日山原始林の保全活動の広報や啓発活動を推進するための拠点となる場所を奈良県内にたくさんつくり、奈良県全体で春日山原始林の保全活動に取り組むことを提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○下村議員

ただいま隅田詩季議員から提案されました提言に賛成します。

○山本（ゆ）議員

ただいま隅田詩季議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

次に、県立国際高等学校、15番、山崎李了丞

議員から、提言第4号、鹿と人が共生できる奈良公園へについて、提言決議方の動議が提出されたので、山崎李了亜議員に趣旨弁明を求めます。

提言第4号

鹿と人が共生できる奈良公園へ

○山崎議員 県立国際高等学校を代表して、提言第4号、鹿と人が共生できる奈良公園へにつきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(県立国際高等学校 山崎 李了亜 議員)

私はグローバル探究という授業で、「鹿と人が共生できる奈良公園へ」というテーマのもと、「どうすれば奈良公園内でゴミを捨てる人が減るか」という問いを立て、探究しています。

現在、奈良公園内にはゴミ箱が設置されていません。以前はゴミ箱を設置していましたが、ゴミが周囲に散乱したり、捨てられたゴミを鹿が漁ったりするなどの事態が多発したために、撤去されたそうです。

昨年の校外学習の際に、奈良の鹿愛護会の方から話を聞きました。鹿が死亡する原因について、交通事故のほか、鹿が口にした人間の食べ物が原因となることが多いそうです。食べたプラスチックが消化できず、吐き戻した際に喉に引っかかり死亡してしまうケースや、奈良公園内に落ちている人間の食べ物は消化が悪いため、人間の食べ物を食べた鹿がだんだん食欲をなくし早死するケースがよくあるようです。この話を聞いたとき、始めは、奈良公園内にゴミ箱を設置した方が、鹿の

ためにも公園内の環境のためにもよいのではないかと考えました。実際に、奈良県の公式Webサイトにも鹿が侵入しないようなゴミ箱の設置を提案する投稿もありました。しかし、探究を進めるうちに、たとえ鹿に配慮したゴミ箱を設置しても、奈良公園でゴミを捨てる人がいれば、この問題は解決できないのではないかと考えるようになりました。

私は、これからも鹿と人が共生し続けられる奈良公園にしていくために、観光客に自分の捨てたゴミのせいで鹿の命が奪われているかもしれないということを自覚してもらう必要があると考えます。例えば、民間団体の奈良公園ゴミゼロプロジェクト実行委員会が、死亡した鹿の胃袋から出てきたプラスチックゴミの写真を載せたポスターを作成しています。このように、Webサイトやポスター掲示などで鹿の現状を伝え、ゴミを奈良公園内に捨てようと思わせない取組をもっと強化していく必要があると考えます。また、デポジット制度を活用して、観光客に食品の空き容器を店に持ってきたら返金するなど、ゴミを効率よく回収する方法を実践することもできると思います。現在、様々な団体が鹿のためにボランティア活動を行っていますが、奈良県として、日本中、世界中の人にこの問題を発信し、奈良公園にゴミを捨てさせない取組を強化することで、より多くの観光客に意識してもらうことができると考えます。そうすればゴミを捨てようとする人が減り、奈良公園内のゴミ問題の解決にもつながり、鹿と人が共生できる奈良公園が実現できると思います。

以上のことから、奈良公園にゴミを捨てさせない取組を強化して、鹿と人が共生できる奈良公園を目指すことを提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、お願いいたします。

○廣重議員

ただいま山崎李了亜議員から提案されました提言に賛成します。

○山本（真）議員

ただいま山崎李了亜議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

次に、奈良女子大学附属中等教育学校、19番、井上眞那議員から、提言第5号、地域に根付いた新たな観光資源づくりについて、提言決議方の動議が提出されましたので、井上眞那議員に趣旨弁明を求めます。

提言第5号

地域に根付いた新たな観光資源づくり

○井上議員 奈良女子大学附属中等教育学校を代表して、提言第5号、地域に根付いた新たな観光資源づくりにつきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。

奈良県観光客動態調査報告書によると、令和3年の奈良県の観光客数は、北部で519万人、東部1215万人、西部426万人、南部255万人と、西部や南部の観光客数が少なく、この傾向はコロナ禍前から見られます。



(奈良女子大学附属中等教育学校 井上 眞那 議員)

そこで、私は、奈良県の西部や南部への観光客を増やすために、地域に根付いた観光資源を新たに開発することを提案します。奈良県の西部や南部の特産品を調べてみると、御所市の桐材加工、

川西町の貝ボタン、五條市の大塔坪杓子などがあります。しかし、これらの特産品を多くの人に知ってもらわなければ、素晴らしい技術や歴史が途絶えてしまう可能性があります。私は、これらの特産品を広く知ってもらうための手立てとして、これらの特産品の技術を元に、新たな観光資源となる商品を開発してはどうかと考えています。奈良県内の学生が参加し、県内の空き家を活用して、技術者とともに新しい商品を開発するプロジェクトをそれぞれの地域で行い、奈良県には、開発費等の経済的な支援や、学生と技術者、さらには生産者をつなぐ支援を行っていただきたいと考えています。

このプロジェクトには3つの利点があります。1つ目は、新たな観光資源が生まれることで、観光客の集客につながり、北部や東部に集中していた観光客を西部や南部に広げることでさらなる観光客の増加が期待できます。2つ目は、空き家を活用することによって、空き家の数を減少させることができます。3つ目は、学生が地域の特産品開発に関わることで、学生がそのまま地域の産業を引き継ぎ、後継者として活躍する可能性を広げます。

商品の開発において、「自分たちなら何が欲しいか」、「自分たちならどんなものに興味が持つか」との問いに向き合い、試行錯誤することによって、今まで思いもつかなかったアイデアが生まれるかもしれません。学生の柔軟なアイデアを経験豊かな技術者が形にすることができれば、そのアイデアが奈良県の新しい観光資源となり、奈良県のさらなる発展につながると考えます。

以上のことを、地域に根付いた新たな観光資源づくりとして提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○樫田議員

ただいま井上眞那議員から提案されました提言に賛成します。

○山本（実）議員

ただいま井上眞那議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

次に、県立五條高等学校、23番、榎原涼太議員から、提言第6号、奈良県南部地域の活性化政策について、提言決議方の動議が提出されましたので、榎原涼太議員に趣旨弁明を求めます。

提言第6号

奈良県南部地域の活性化政策

○榎原議員 県立五條高等学校を代表して、提言第6号、奈良県南部地域の活性化政策につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



（県立五條高等学校 榎原 涼太 議員）

奈良県には多くの外国人観光客や他府県からの観光客が訪れています。しかし、奈良県内の観光地で多くの観光客が訪れているのは、奈良市周辺に集中しているように感じます。奈良県には、奈良市以外にも魅力的な地域がたくさんありますが、観光客が少なく、街並みが寂しく感じられる場所も多く見られます。私たちの学校のある五條市も、五條新町を始め歴史的文化財も多く、魅力のある地域ですが、観光客が多く訪れているとはいえない状況だと感じています。

私は、奈良県南部地域に多くの観光客が訪れ、南部地域の観光業を活性化するために、まずは観光以外の目的で多くの人が訪れる場所をつくってはどうかと考えます。

例えば、五條高校には、人工芝のグラウンドがあり、豊かな自然の中でさまざまな部活動の生徒がスポーツに励んでいます。また、時には、地域の小学生を集めてサッカー教室を行うなど、地域の交流の場所としても活用されています。このように交流できる施設があれば、合宿やイベント等の目的で訪れる人も増えるのではないのでしょうか。また、五條高校の周辺はとても静かで、集中して勉強できる環境です。勉強に疲れたときには、窓からきれいな景色を見て、気持ちをリフレッシュすることができます。このような環境はデスクワークなどの仕事をするのに適切な場所だと思います。もし、テレワークができる環境が整った快適なワーキングスペースがあれば、仕事で利用したいと考える人もいるのではないのでしょうか。このように、イベントや仕事などの観光以外の目的で訪れた人たちに一定期間滞在してもらえたら、滞在中に奈良県南部の観光地を訪れる機会も増え、奈良県南部地域の観光事業の活性化にもつながると思います。

以上のことから、奈良県南部地域に人々が交流できる施設やワーキングスペースのある施設をつくり、そこを利用するために多くの人が滞在する仕組みを作れば、そこを拠点に奈良県南部地域の様々な観光地を訪れるきっかけが生まれ、ひいては奈良県南部地域の観光業の活性化につながると考え、奈良県南部地域の活性化政策として提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○藤村議員

ただいま榎原涼太議員から提案されました提言に賛成します。

○池田議員

ただいま榎原涼太議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立しました。

次に、大和高田市立高田商業高等学校、27番、山本実奈議員から、提言第7号、ご当地弁当で奈良県の食の魅力発信について、提言決議方の動議が提出されましたので、山本実奈議員に趣旨弁明を求めます。

提言第7号

ご当地弁当で奈良県の食の魅力発信

○山本（実）議員 大和高田市立高田商業高等学校を代表して、提言第7号、ご当地弁当で奈良県の食の魅力発信につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



（大和高田市立高田商業高等学校 山本 実奈 議員）

現在、奈良県には多くの観光客が訪れていますが、奈良県ならではの食材を求めて観光に来ている人は少ないように感じます。私は、県外の人に奈良県の食の魅力をあまり発信できていないように感じています。併せて、奈良県に住む人も、奈良県産の食材を購入しようとする意識も低く、奈良県産の食材についてはあまり注目していません。

奈良県には、いちごや柿など全国的に広く知られている特産物もありますが、「結崎ネブカ」や

「大和まな」といった日常的に使用される野菜など多くの特産物があります。しかし、消費者がこれらの特産物について知る機会がとても少ないように思います。

そこで、奈良県の特産物に注目してもらうため、奈良県産の食材を使ったご当地弁当を作って販売することを提案します。ご当地弁当は、近鉄奈良駅、王寺駅、生駒駅などの国内外の観光客の利用率が高い駅の構内や、近畿圏内のデパ地下やコンビニ等で販売します。スマートフォンを通じて予約購入ができるシステムを導入すれば、スムーズに弁当を受け取ることができ、通勤中、通学中の方や外国人観光客の方にも気軽に弁当を購入してもらうことができます。来年には大阪・関西万博が開催され、奈良県への観光客も増えることが予想されます。そのような観光客に奈良県の特産物がつまったご当地弁当を手にとってもらえば、奈良県の特産物をPRすることができ、また、奈良県民にとっても地元の食材を知り、奈良県産の食材を買おうと考えるきっかけになると思います。

このように、奈良県の特産物がたくさんつまったご当地弁当を開発し、効果的な販売システムなどをつくることによって、奈良県の食の魅力を多くの人に知ってもらうとともに、県民の地産地消を推進することができると考え、ご当地弁当で奈良県の食の魅力を発信することを提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○領内議員

ただいま山本実奈議員から提案されました提言に賛成します。

○紙谷議員

ただいま山本実奈議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があつて成立し

ました。

次に、聖心学園中等教育学校、31番、永井遼佑議員から、提言第8号、記憶に残る奈良県の魅力づくりについて、提言決議方の動議が提出されましたので、永井遼佑議員に趣旨弁明を求めます。

提言第8号

記憶に残る奈良県の魅力づくり

○永井議員 聖心学園中等教育学校を代表して、提言第8号、記憶に残る奈良県の魅力づくりにつきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。



(聖心学園中等教育学校 永井 遼佑 議員)

私たちは、奈良県を訪れた人々の記憶に残り、もう一度来たいと思えるような場所にしたいと考えています。そのためにリゾート施設の設置とホテルの建設を進める企業等への補助や支援をすることを提案します。

まず、リゾート施設は、小さな子どもから高齢の方々、体が不自由な人まで、あらゆる人が楽しめる、奈良県の魅力が詰め込まれた施設にします。今、若者の間ではSNSの流行により「映え」を意識する人が増えています。建物はその「映え」を意識したデザインにし、また「映え」を意識した商品を導入します。例えば、朱雀門や奈良公園の鹿をあしらったパフェなど、その建物の歴史を伝えながら食事を楽しんでもらう商品を考えます。これは、若者だけでなく、様々な年齢層にとっても魅力的ではないでしょうか。

次に、リニアの駅の施設の近辺にホテルを誘致します。大阪府や京都府に比べ、奈良県における宿泊者数は低迷しています。これは、ホテルの数が少ないことが原因だと考えます。奈良県は、昼は賑わった町並みが見られ、夜は明かりが多すぎず、静かで落ち着いているという利点があります。ホテルの内装やインテリアは奈良の特産品である吉野杉を使い、奈良の食文化として、古都華や柿の葉寿司などを提供します。このように、奈良の魅力を広く知ってもらうとともに、できるだけ長く滞在してもらえるようにします。そして、奈良に住むメリットを知ってもらうことができれば、移住者の増加、本社を構える企業の増加など県全体に大きな恩恵と経済効果をもたらすことができます。

リニアが奈良にやってくるこの機会を逃さず、新しいリゾート施設とホテルの誘致を通して、記憶に残る奈良県の魅力づくりを推進することを提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○柴原議員

ただいま永井遼佑議員から提案されました提言に賛成します。

○武内議員

ただいま永井遼佑議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があって成立しました。

次に、県立高円芸術高等学校、35番、紙谷夢咲議員から、提言第9号、V T u b e r「奈々鹿」を活用した奈良の魅力発信について、提言決議方の動議が提出されましたので、紙谷夢咲議員に趣旨弁明を求めます。

提言第9号

VTuber「奈々鹿」を活用した奈良の魅力発信

○紙谷議員 県立高円芸術高等学校を代表して、提言第9号、VTuber「奈々鹿」を活用した奈良の魅力発信につきましては、提言文の朗読をもって提案に代えさせていただきます。

現在「奈良県広報担当VTuber」として奈良県の広報を担っている「奈々鹿」ですが、本校生徒の中でも認知度が低いため、全国で認知されているとはいいがたいと思われます。インターネットという手段は、外国の方や若者に奈良を知ってもらうための有効な手段ではあるのですが、YouTube「奈良県公式総合チャンネル」のコメント欄を見ていると、「とても可愛い」「キャラクター性や名前に奈良っぽさが出ていて良い」という好意的な意見の他に「企画をして欲しい」「奈良の南部の宣伝もしてほしい」というリクエストや「画質が悪い」「専用チャンネルを作りたい」などの要望が見られました。

そこで、「奈々鹿」の活躍の場を広げ、「奈々鹿」を活用して奈良の魅力を発信することを提案します。すでに全国での認知度が高い「せんとかん」と「奈々鹿」とがコラボレーションして、2人が奈良のさまざまな場所でいろいろなことに挑戦するショート動画など、見やすく目につきやすい動画を作成することや、「奈々鹿」のキャラクター性を活かした決めゼリふを考案して、「奈々鹿」の魅力を高めていくことで、YouTubeだけでなく様々なSNS媒体を用いた宣伝、広報活動が可能になると思います。さらに、「せんとかん」とのコラボレーションだけではなく、奈良県が関西広域連合に全面参加したことをふまえて、関西全体のVTuberがコラボレーションし、関西一丸となって各府県の魅力を発信すれば、それぞれの地域の活性化につなげることができます。

以上のことから、VTuber「奈々鹿」を活用して奈良の魅力を発信することを提言します。

令和6年8月21日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願い致します。

○福井議員

ただいま紙谷夢咲議員から提案されました提言に賛成します。

○高橋議員

ただいま紙谷夢咲議員から提案されました提言に賛成します。

○長屋高校生議長

ただいまの動議は、成規の賛成があって成立しました。

提言第1号から提言第9号を一括議題とします。お諮りします。

提言第1号から提言第9号については、動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。



(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よって、提言第1号から提言第9号については、採択することに決しました。

これをもって、住みよく魅力ある奈良県づくりについての提言を終わります。

以上をもちまして奈良県高校生議会を閉会します。